

京都市の外国人留学生などに自転車用ヘルメットを贈呈

～(公財)京都市国際交流協会主催の外国人歓迎会で京都市と連携した啓発を実施～

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：榎並 新次・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社京都支店長）では、4月21日（日）に一般社団法人京都損害保険代理業協会および京都府保険代理業協同組合とともに京都市と連携して、(公財)京都市国際交流協会が主催する外国人歓迎行事に参加し、自転車の安全講習および自転車用ヘルメットの贈呈を実施しました。

同歓迎会は、京都に来て間もない留学生や日本語学校の学生等に、生活に役立つ情報をお伝えし、互いに交流を深めてもらうために(公財)京都市国際交流協会が例年実施しているものです。

当日は、第一部のセミナーの時間をお借りし、京都市建設局自転車政策推進室の職員の方から動画や小冊子を使って、日本における基本的な交通ルールや路地・交差点が多い京都市内の道路の特徴等について、自転車乗車時のヘルメット着用の努力義務化や自転車保険の加入義務化の話も交え、解説がありました。

続いて、京都損保会の榎並会長および京都府保険代理業協同組合の辻本会長から、安心安全な京都ライフを過ごしてもらいたいとの気持ちを込めて、セミナー参加者に自転車用ヘルメットを贈呈しました。

京都損保会では、今後も関係各所と連携し、京都府内の交通安全啓発に努めてまいります。



ヘルメット贈呈の様子①(右：榎並会長 左：辻本会長)



ヘルメット贈呈の様子②(右：榎並会長 左：辻本会長)



京都市職員による講習の様子（英語）



京都市職員による講習の様子（中国語）